

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成29年度第5回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成29年10月26日（木）午後7時 ～ 8時30分
開 催 場 所	ボランティア・市民活動センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：渡辺龍也、藤崎由美子、比留間多一、一色健次、金澤知子 清野智美、瀬口圭志、高尾典之、比留間毅浩 欠席者：高橋誠 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	協働事業提案制度平成30年度実施事業プレゼンテーション
議 題	採択すべき事業の選定について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	協働事業提案制度平成30年度実施事業プレゼンテーション 提案団体によるプレゼンテーションを1団体実施した。 議題 採択すべき事業の選定について -非公開- その他（審査報告書について） 事務局で各委員の意見を取りまとめて後日各委員に送付し、内容の確認を行う。その後再修正等を行い、最終決定して市長報告を行う。 （次回会議の開催日程について） 第6回会議は平成30年2月頃に開催する。詳細な日程については、事務局が各委員と調整して改めて通知する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） □印：座 長 ○印：委 員 △印：提案団体 ▲印：市担当課 ●印：事務局	協働事業提案制度平成30年度実施事業プレゼンテーション 事業番号29-3 団体名：むさし村山ストリートダンス協会 事業名：ムラッパーの武蔵村山市PR作戦 担当課：観光課 観光グループ -提案団体によるプレゼンテーション- ○ むさし村山ストリートダンス協会とはどのような団体か。 △ 市内で活動していた複数のダンス団体が、一体化した組織である。 ○ 熱心に活動していることが伺え、市内ではムラッパーの認知度はかなり高まっていると思う。 ○ 平成31年度以降は、どのような形で自己財源を確保するのか。 △ 現在は無料で出演しているイベントについて、出演料をいただくようにしたいと考えている。また、会員からも参加費の徴収を考えている。

- 収入が少なくなる分だけ活動の規模も縮小するのか。
- △ これまでは遠方に出向くための費用が高い割合を占めていた。協働事業終了後は、市内や近隣のイベントへの出演を中心に活動していく。また、他市のキャラクターを武蔵村山市のイベントに呼ぶことも考えている。
- 配布物による周知は。
- △ 出来る範囲でやっていきたい。
- 他市のキャラクターを呼ぶ場合、謝礼が必要ではないか。
- △ 行政のキャラクターについては、無料で呼ぶことが出来る。まずは、デエダラまつりなどの既存のイベントに他市のキャラクターを呼び、いずれは団体だけでゆるキャラのイベントを開催したいと考えている。
- スケジュール表にはゆるキャラグランプリの投票期間が記載されているが、参加するのか。
- △ ゆるキャラグランプリは参加費等が必要であり、市のPRという主旨からは外れている。我々が目指している方向性とは違うので、参加はしない予定である。
- 協働事業終了後の展望として、モノレール沿線のキャラクターを集めたイベントとあるが、具体的な構想はあるのか。
- △ 具体的なことはまだ決まっていないが、モノレール沿線の市には多くのキャラクターが存在するので、将来的にモノレール延伸の活動に合わせて何かイベントを開催したいと考えている。
- 協働事業終了後の関係性について、担当課はどう考えているのか。
- ▲ ムラッパーのインパクトと集客力にはかなりの効果を感じている。協働事業終了後も市内外のイベント情報を随時提供し、必要に応じて出演依頼等をしていきたいと考えている。その際には謝礼を支払う予定である。
- 市に求める役割にある、地域ブランドに関する手配等とはどういうことか。
- △ 武蔵村山市には地域ブランドとして認証されている商品がある。遠方のイベントに出向く際に、PRの一環として現地で販売することを考えているため、地域ブランド商品の手配をお願いしたいという意味である。ただ、地域ブランド商品は賞味期限が短いものが多いため、よりブースでの販売に適した商品を考えていきたい。
- イベント出演にあたり、主催者との調整は担当課が行ってきたとのことだが、協働事業終了後は団体だけで行うのか。
- ▲ 民間のイベントへの協力は難しい。自治体に関わるイベントがあった場合は、ムラッパーに出演依頼する形で連携していきたい。
- もう一体キャラクターを増やす計画があったと思うが。
- △ 現在の予算状況では難しく、まだ実現できていない。
- 人員体制について伺いたい。
- △ スタッフの育成に力を入れている。ダンス協会に所属している高校生や大学生などの若い人材を育成し、人員体制の強化に努めている。
- 知名度の向上を確認できる客観的な根拠等はあるのか。
- △ 客観的な根拠かどうかは分からないが、当初こちらから出演を申し込んでいたイベントについて、今では主催者から出演を依頼されるようになったので、知名度は向上していると感じている。
- SNSを活用した広報が不十分に感じる。
- △ 今後は広報専門のスタッフを配置し、SNSの活用による広報も力を入れていきたいと思っている。

	<p>議題 採択すべき事業の選定について</p> <p>-非公開-</p> <p>その他</p> <p>(審査報告書について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局で各委員の意見を取りまとめて後日各委員に送付し、内容の確認を行う。その後再修正等を行い、最終決定して市長報告を行う。 <p>(次回会議の開催日程について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第6回会議は平成30年2月頃に開催する。詳細な日程については、事務局が各委員と調整して改めて通知する。
--	--

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 (事業の採択に関する審査過程を明らかにすることで公正な事務を行えなくなるおそれがあるため。)	傍聴者： <u>0</u> 人
-------------	--	-----------------

会議録の開示・非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input checked="" type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例第8条第5号) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)